



鈴木 真澄 議員 (自民)

保幼小連携について

①座って授業を聞くといっ た学校のルールを理解できな いなどの小一プロブレムと呼 ばれる現象も問題化している が、区の実態は。②現在行わ れている保幼小交流事業の実 施前と比較すると変化は。

③小一プロブレムの起きる原 因は、子どもだけにあるのか。 ④保幼小連携の推進に関する 検討委員会が設置された。検 討の中に礼儀作法を身につけ るという面から、しつけを盛 り込んでほしいと考えるが委 員会のめざす方向性、まとめ

を出す時期は。⑤保育に対し て幼児教育をどのように取り 入れるのか。小学校にはこの 連携に対してどこまで求めて いくのか。⑥乳幼児教育と市 民科の具体的な取り組みは。 保幼小一貫教育を考えていく のか。⑦公立・私立を問わず 保育者の研修の場が重要にな るが対応は。

区長 ①小一プロブレムに よって学級が崩壊するなどい った極端な事例はないと聞 いている。②2年間の事業で 保育者と教員が互いの指導の 状況がわかり、指導すべき事 項が明らかになってきた。

③一概に原因を特定すること は難しい。④市民科学習の実 践を参考に、具体的な連携に 向けた議論を深めていただき たい。来年の夏を目途に協議

をまとめる予定だ。⑤保幼小 それぞれの視点から分析し、 相互理解を深めるよう取り組 む。⑥市民科という科目、情 操や感性を豊かに育てること は保育園・幼稚園での接続を 考えているが、その他の一般

の科目について前倒しで教え ることは考えていない。⑦保 育職員も教育委員会が実施し ている幼児教育研修に参加し ている。希望する私立保育園、 私立幼稚園の関係者も参加で きる仕組みが必要と考える。

①区は保険者として現在ま での運営状況をどのように評 価しているのか。②元気な方 が、いつまでも社会参加して いただくために、どのような 観点から施策の展開を図るの か。③都営大井町住宅跡地の 高齢者住宅施設に住みかえ

る際、入居者に大きな環境の 変化が生じるが検討状況は。 ④今後、施設の基盤整備を行 っていくための検討状況は。 ⑤介護サービス全体に関して 民間活用の方針は。

健康福祉事業部長 ①家族 の負担となっていた介護を社 会化するという目標を、課題 があるものの一定程度達成し た。②地域との協働に重点を

置き、しながわシニアネット の支援など充実に努める。 ③施設の運営の中で対応する。 ④今後の高齢者人口の増加を 見込むと、学校等の施設の改 修を含め一定程度の特養の整 備は必要と考える。⑤今後と も民間事業者によるサービス 提供を進める。その際、良質 なサービスが確保できるよう 指導等を行う。

大井町のまちづくりについて

①昭和62年5月に立ち上げ た大井プレイス構想をどのよ うに考えていくのか。早急に JR、地元商店街、町会、学 識経験者や議会を含めたまち づくりに関する話し合いの場 を設定し、今後のまちづくり に生かすべきでは。②劇団四 季の新しい劇場が広町に建設 される。地元商店街と一体と なり大井町の活性化に向け、

さらなる取り組みを。③きゅ りあんを生かし、区民団体の 文化芸術の発表の場をつくる ことも可能だ。大井町をどの ような姿に変えるのか。 防災まちづくり事業部長

①これまでの取り組みは無計 画な土地利用転換を抑制し、 可能性を秘めた大規模な空間 を守る効果があった。近く地 元でまちづくりの取り組みを しているNPO等の団体と意 見交換を行い、その上で地元 の方々と共有できるまちづく

りの方針を取りまとめる。 ②地元商店街の方々が検討を 始めていることは承知してお り、期待にこたえるよう具体 策を取りまとめる。③全国に 文化を発信する中心地となる べく大井町を育てていきたい。



山元 敬子 議員 (公明)

女性のがん対策について

を考えていく方向で調整を進 めている。④医師や検査技師 などが女性となるよう各検診 機関にお願いしている。⑤乳 がん検診の自己負担について は、マンモグラフィと超音波 の両方の検査を実施しており、 一定の自己負担をお願いして いる。⑥小学校では体育、中 学校では保健体育の授業等に おいて、がんの早期発見・早 期治療の重要性について学習 しており、今後とも、その予 防と早期発見の重要性を認識 することができるよう取り組 んでいく。

①今回の新型インフルエン ザ発生に伴い⑦フェーズ5で 設置する品川区感染症緊急事 態対策本部などは予定どおり 設置されたのか。①発熱セン ター訓練の成果は。②広報な どの区民への告知について伺 う。②インフルエンザ対策行 動計画の早期見直しと、危機 管理シミュレーションの早期 実施、また、事業継続計画の

さらなる検証の実施を提案す る。③区民の要望にこたえら れるように、インフルエンザ 予防接種を十分に実施できる ように準備し、感染して重症 化しやすい方への助成制度を 創設することを提案する。 ④防護服や消毒液などの備蓄 品について、現在までの準備 状況は。⑤予防薬と治療薬な どの備蓄量を再度検討するこ とを提案する。

健康福祉事業部長 ①今年 度から申し込み方法を見直し し、区ですべて受け付けるよ うにし、受け付け段階で受診 を断ることがないようにした。 ②電子申請を含めた改善や対 象者への周知なども検討して いく。③土曜日の検診の拡大

を考えていく方向で調整を進 めている。④医師や検査技師 などが女性となるよう各検診 機関にお願いしている。⑤乳 がん検診の自己負担について は、マンモグラフィと超音波 の両方の検査を実施しており、 一定の自己負担をお願いして いる。⑥小学校では体育、中 学校では保健体育の授業等に おいて、がんの早期発見・早 期治療の重要性について学習 しており、今後とも、その予 防と早期発見の重要性を認識 することができるよう取り組 んでいく。

早く、危機管理対策本部を立 ち上げ、国や都の対応を見き わめつつ具体的な行動をとっ てきた。①区民への感染拡大 防止策として、4月29日より 発熱相談センターを開設し、

適切な対応ができた。⑦5月 11日に他区に先駆け広報の号 外を発行するなど、広報紙や ホームページを通じて、区民 への迅速な情報発信を行った。 ②今回の経験はシミュレーシ ョン以上に大変貴重で、対応 の十分な検証を通じて、今後 の対策に生かしていく。③ワ

タチンの製造・供給は国の責 務とされているので、助成制 度も含め、国の動向を注視し ていく。④4月以降、マスク 等の衛生・医療資材の購入に 取り組み、相当量の備蓄品を ストックした。⑤タミフル等 治療薬の備蓄は都道府県の責

任とされているので、今後の 対応に備えていく。⑥インフル エンザ対策行動計画の早期見 直しと、危機管理シミュレーシ ョンの早期実施、また、事業 継続計画の早期見直しと、危 機管理シミュレーションの早 期実施、また、事業継続計画

のさらなる検証の実施を提案 する。③区民の要望にこたえ られるように、インフルエンザ 予防接種を十分に実施できる ように準備し、感染して重症 化しやすい方への助成制度を 創設することを提案する。 ④防護服や消毒液などの備蓄 品について、現在までの準備 状況は。⑤予防薬と治療薬な どの備蓄量を再度検討するこ とを提案する。

健康福祉事業部長 ①今年 度から申し込み方法を見直し し、区ですべて受け付けるよ うにし、受け付け段階で受診 を断ることがないようにした。 ②電子申請を含めた改善や対 象者への周知なども検討して いく。③土曜日の検診の拡大

を考えていく方向で調整を進 めている。④医師や検査技師 などが女性となるよう各検診 機関にお願いしている。⑤乳 がん検診の自己負担について は、マンモグラフィと超音波 の両方の検査を実施しており、 一定の自己負担をお願いして いる。⑥小学校では体育、中 学校では保健体育の授業等に おいて、がんの早期発見・早 期治療の重要性について学習 しており、今後とも、その予 防と早期発見の重要性を認識 することができるよう取り組 んでいく。

務とされているので、今後区 としては増やす予定はない。 ひとり親家庭への支援

①相談窓口と福祉資金の貸 付制度について父子家庭も対 象として実施することを提案 する。②本区として児童扶養 手当の支給基準をベースとし た父子家庭への福祉手当を創 設することを提案する。

子ども未来事業部長 ①母 子家庭と対応の違いがあるこ とは、個々の事例は別として、 収入格差等の実態からはやむ を得ないと考える。なお、相 談についてはお受けしている。 ②自治体が単独で制度を創設 するのではなく、国の責任に おいて雇用対策、経済対策と して検討すべきものだ。

区議会で採択し、区長に報告を求めた請願について、次の とおり報告があったので、お知らせいたします。

採択されて区長に送られた請願についての報告

品川区私立幼稚園児保護者負担教育費軽減の為の請願

1. 保護者補助金の所得制限の緩和について 保護者補助金は、保護者の負担軽減、公私格差の是正を目 的に設けられたものであり、品川区としても厳しい財政状況 が続く中、補助金制度の維持に向けて今後とも努力してまい ります。

また、この制度は、幼児教育の機会を等しく確保するため、 一定の所得制限の下で補助金を交付するものであり、現在の 基準(園児保護者補助金は約6割の方が該当)は妥当な水準 と考えておりますので、引き続き所得制限を維持しつつ、十 分な配慮を行ってまいりますので、ご理解のほどよろしくお 願いいたします。

なお、入園料補助金につきましては、19年度より1万5千 円増額し、10万円としたところであります。この増額により、 品川区の入園料補助金は、23区では最も高い補助金額になり ました。